1 中北農務事務所（中北地域普及センター）機構図

- 所長
  - 次長(事)
  - 次長(技)
    - 営農支援幹
    - 農村整備振興幹
    - 工事施工管理幹
      - 0551-23-3078 地域農政課
        - 農政担当
          - ●新規土地改良事業の調査･計画
          - ●農業、農村施策の総合調整
          - ●農地法に基づく許可等に関する事務
          - ●農業関係団体の指導
          - ●総務事務の補助
        - 地域整備担当
          - ●水田農業構造改革対策の推進
          - ●農業関係補助事業の推進
          - ●鳥獣害対策
      - 0551-23-3291 農業農村支援課
        - 地域づくり担当
          - ●農業者の確保･育成の支援
          - ●集落営農の推進
          - ●食農教育の推進
        - 生産振興担当
          - ●地域農業の生産･経営の相談、指導、情報提供
          - ●農業生産組織の育成
          - ●地産地消の推進
      - 0551-23-3084 農業基盤第一課
        - 指導財産担当
          - ●県営土地改良財産の管理及び処分
          - ●用地等の買収、補償費及び登記
          - ●土地改良区等の指導監督及び検査
        - 農業基盤第一担当
          - ●峡北地域の県営土地改良事業の設計、施行及び監督
        - 農業基盤第二担当
          - ●広域農道整備に関する事業の設計、施行及び監督
      - 0551-23-3771 農業基盤第二課
        - 農業基盤第三担当
          - ●県営土地改良事業の設計、施行及び監督
          - ●農地及び農業用施設災害復旧事業の指導
        - 農業基盤第四担当
          - ●県営土地改良事業の設計、施行及び監督
          - ●農地及び農業用施設災害復旧事業の指導

〒407-0024
山梨県韮崎市本町四丁目2-4　北巨摩合同庁舎2階
TEL 0551(23)3077(代)
FAX 0551(23)3098

2 地　域　の　概　要

山梨県は、周囲を富士山、南アルプス、八ヶ岳、奥秩父山系などの山々に囲まれ、森林面積が78%を占める自然環境に恵まれた内陸県である。耕地面積は、僅か25,700ha（5.8%）と狭少となっている。この中で甲府盆地を中心として、東西に桃、ブドウ、サクランボ等の樹園地帯が広がり北西及び、南に田園地帯を配している。

中北農務事務所は、甲府盆地の中心から北西部の6市1町を管内とし、耕地面積は13,287haでその内訳は水田6,588ha、普通畑2,691ha、樹園地3,480ha、その他528haであり、管内総面積133,601haに対し、その割合は約10%である。農家数は18,217戸で近年、都市近郊農業と自然緑地空間を利活用した、観光型農業に対する意欲は大いなるものがある。

管内南部を流下する富士川（釜無川）と、その支流である御勅使川により形成された扇状地帯の果樹栽培が盛んで『新果樹王国やまなし』を支えている。又、東部地域は、水田から施設野菜を併せ都市近郊型農業が一段と進み、本県の重要な生産地で、今後も安定した野菜供給地域として期待されている。

中部地域の土地改良事業は、釜無川右岸畑地かんがい事業（国･県･団体営）が昭和48年に完成し、水田地帯の区画整理もおおむね整備され、現在は、広域農道、農村地域活性化農道をはじめとした幹線及び支線等の農道網整備や畑総事業、中山間地域総合整備事業、地域環境整備事業などの生活環境関連事業の農村環境整備も盛んに行われている。

北部地域で、耕地面積の約半数を占める水田地帯は、区画形状がほとんど未整備の状態であったが、圃場整備を中心とした基盤整備が計画され、昭和53年度より年次計画で県営圃場整備事業及び土地改良総合整備事業等を実施し、生産基盤の整備と水田の汎用化が進められた。畑地帯は、地域の標高差が大きく盆地性気候から高原性気候と変化に富むことから、栽培作物も野菜（レタス･トマト）、果樹（ブドウ･モモ･リンゴ）、高原野菜（レタス･トマト･キャベツ）、牧草と多種多様である。茅ヶ岳山麓には地域の基幹道路となる広域農道が昭和58年に完成し、現在塩川ダムによる農業用水の高度利用を柱とした茅ヶ岳山麓農業開発計画により、畑地かんがい事業が導入され、農業生産の向上と経営の安定が図られつつある。果樹･野菜･畜産を基盤とした北部地域は、今後の基盤整備事業の推進により農業の飛躍的発展が期待される地域である。